

平成 26 年 7 月 1 1 日

関係各位

認知症介護指導者ネットワーク仙台／

公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

代表世話人／宮城県支部長 佐々木 薫

## 認知症ケアに関する多職種研修会Ⅱ 開催のご案内

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会、当ネットワークの活動に対して格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、認知症介護指導者ネットワーク仙台と日本認知症グループホーム協会宮城県支部では、全国で活躍されている宮島渡氏をお迎えし、多職種連携の認知症ケア研修会を下記の要領で実施いたします。つきましては、ご多忙のことと存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

認知症ケアに関する医療と介護の連携のための

### 認知症ライフサポートモデル研修について

#### ◆認知症施策の経過

厚生労働省は、今後目指すべき基本目標とその実現のため「今後の認知症施策の方向性について」をまとめ、「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続ける事ができる社会」の実現を目指し、平成25年～29年までの暫定施策として認知症施策推進5ヵ年計画（オレンジプラン）を策定し、7つの視点を明示した。

このうち「医療・介護サービスを担う人材の育成」では、認知症の人への医療・介護を含む一体的な生活の支援として「認知症ライフサポートモデル」を策定し、これらを踏まえ医療・介護サービスを担う人材を育成することとしている。

#### ◆ 認知症ライフサポートモデルとは

「認知症の人への医療・介護を含む総合的な生活支援」のことであり、医療も介護も生活の一部である事を十分に認識し、医療と介護等が相互の役割・機能を理解しながら、総合的な支援に結びつけていくことを目指そうとする認知症ケアモデルである。

\* 認知症の人を支えるには、（1）疾病および体調管理から、日常の生活支援、自己決定に関わることまで、総合的な支援を求められており、（2）早期から週末期まで地域社会の中で支えていく継続的な関わりを基本に、生活支援を中心とする支援が求められる。\* ライフ(Life)は「生命」「生活」「人生」等の意味があり、その人が生きてきた人生や、出会いから週末期までの継続的な関わりが含まれる言葉である。\* サポート (Support) は、支える、支持する等の意味があり、主体は本人であることを前提とする言葉である。

以上の考え方から、今後求められる認知症ケアの新たなステージとして、「認知症ライフサポートモデル」という言葉が選択された。

# 認知症ケアに関する多職種連携研修Ⅱ要綱

## ～認知症ライフサポートモデル研修会～

- 日 時 平成26年8月24日(日) 13:00～(受付12:30～)
- 会 場 仙台市民活動サポートセンター 6F セミナーホール  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3
- 主 催 認知症介護指導者ネットワーク仙台  
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 宮城県支部
- 後 援 全国認知症介護指導者ネットワーク  
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 東北ブロック  
日本認知症ケア学会(予定)※ 認知症ケア専門士単位申請中
- 講 師 社会福祉法人 恵仁福祉協会 常務理事  
高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ 施設長総合施設長 宮島 渡 氏
- 対 象 認知症ケアに関わる全ての専門職(医療職、介護職、ケアマネージャー等)
- 定 員 100名(定員になり次第受付を終了致します)
- 費 用 会員 無料、 非会員 1000円(資料代含む)

### 研修プログラム

12:30～	開場・受付開始
13:00	開会のご挨拶
第一部 講義 13:05～14:20	I 「認知症ライフサポートモデル」とは 1 事業の背景 2 専門職ごとに異なる「視点」と「目標」 3 「認知症ライフサポートモデル」とは 4 「認知症ライフサポートモデル」の視点から見る認知症の捉え方
休 憩	
第二部 演習 14:30～17:00	II それぞれの役割とチームケア 1 75歳のハマコさん 2 「手遅れ型支援」と「備え型支援」 3 演習(グループワーク) 4 確認とこれからの展望
17:00	閉会のご挨拶

## 講師プロフィール

宮島 渡 社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事  
高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ 施設長

- 大学卒業後に民間金融機関に就職。87年より茨城県内の特別養護老人ホームに生活指導員として勤務し、91年に長野県に移住。医療法人に所属して特別養護老人ホームアザレアンさなだの建設に着手。93年には同施設と真田町デイサービスセンターを開所し、施設長に就任。認知症介護高度化推進事業委員、全国小規模多機能事業者連絡会副会長、全国社会福祉施設経営者協議会介護保険事業経営委員会なども兼務。

学歴：日本大学商学部会計学科卒

筑波大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース修了

略歴：

- ・長野大学非常勤講師 社会福祉学部 「地域福祉計画論」「福祉サービス運営管理論」・松本短期大学 介護福祉士養成学科「認知症の理解」・上田福祉敬愛学院 「介護保険制度論」「福祉倫理」
- ・社会福祉事業大学専門職大学院 非常勤講師・認知症介護指導者大府ネットワーク代表世話人
- ・認知症介護指導者研修講師（東京センター、大府センター、仙台センター）
- ・介護福祉士ファーストステップ研修講師（長野、大阪、群馬、石川、富山、福井、滋賀）

主な役職・委員

- ・平成15年度 「ユニットケアにおけるケアのあり方と職員研修カリキュラムに関する研究」「痴呆性高齢者の暮らしを支援する新たな地域ケアサービス体系の構築に関する調査研究」
- ・平成16年度 「小規模多機能ケアの質の確保に関する研究」・平成18年度 「介護サービス従事者の研修体系のあり方について」・平成19年度 「地域密着型サービスの質の確保と向上に向けた調査研究事業」・平成20年度 「介護老人福祉施設等の管理者等の職務課題の明確化と幹部養成プログラム開発に関する調査研究事業」・平成20、21年度 「介護サービス基盤の整備方針に関する調査研究」
- ・平成20～22年度 認知症ケア高度化推進事業 ワーキング座長・平成23年度 「認知症サービス提供の現場からみたケアモデル研究会」（老健事業）・平成24年度 「認知症ライフサポートモデル検討委員会」（老健事業）「認知症ケアパス研究会」（老健事業）「通所型の地域密着型サービスを拠点とした包括的・継続的な認知症ケアとそれを担う介護職員のキャリアパスに関する調査研究事業」「災害福祉広域支援ネットワークの構築に向けての調査研究事業」・平成7～13年度 長野県社会福祉士会会長
- ・平成14～15年度 長野県社会福祉会顧問・平成8～12年度 長野県デイサービスセンター協議会会長
- ・平成11～21年度 NPO 長野県宅老所・GH 連絡会副会長・平成22年度～ NPO 長野県宅老所・GH 連絡会理事長・平成13～20年度 NPO 長野県高齢者福祉協会副会長・平成15～20年度 長野県社会福祉審議会委員・平成20～ NPO 地域生活サポートセンター理事・平成15年～ NPO キャリア開発機構 理事・高齢者福祉プラン策定委員（第3期）・平成24年度～ 長野県認知症対策推進協議会委員

主な著書

「地域でねばる」（筒井書房）

「利用者の生活を支えるユニットケア」（認知症介護研究・研修東京センター 共著）

「生活施設のケアプラン実践」（中央法規 共著）

「認知症の理解」（中央法規 共著）

「認知症に対する介護技術」（第一法規 共著）他多数

## 《会場アクセス》



ご来館は公共交通機関をご利用ください。

●地下鉄「広瀬通駅」西5番出口すぐ●市営バス「商工会議所前」徒歩3分



FAX 022-273-8510

認知症介護指導者ネットワーク仙台  
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会  
宮城県支部 あて

認知症ケアに関する他職種研修会 参加申込書

申し込み締め切り 8月15日(金)

法人名・会社名		
担当者名		住所
	TEL	FAX
	事業所名	参加者名
①		
②		
③		
④		
⑤		
通信欄		

※お問い合わせ先

事務局：仙台楽生園ユニットケア施設群内

担当：佐々木・小関

TEL：022-273-4920

FAX：022-273-8510